

CS・SDGsパートナーズ通信



埼玉映画ネットワーク様の取組を紹介します

埼玉映画ネットワーク様は、世界の多様な映画の中から厳選した作品を、市民に身近な公営施設で定期的に上映しているNPO法人です。映画を上映するだけでなく、映画の持つ魅力を活用し、市民の心身の健康、学びや交流の場の創出、地域の活性化も目指されています。

今回はその取組の一部を紹介します。



埼玉映画ネットワークの皆様

上映会を通じて社会課題を考える



市内の「埼玉会館」・「彩の国さいたま芸術劇場」（改修工事のため2024年3月再開）にて毎月、映画の上映会を開催しています。当日の運営には9名の理事が交代で当たるとともに、さいたま市セカンドライフ支援センター（愛称「り・とらいふ」）に登録されている方を始めとしたボランティアが活躍しています。

上映する作品は世界中の多様なジャンルから独自に選定しており、「食の安全」や「尊厳死」、「戦争と平和」をテーマにした作品などの上映実績があり、来場者に対し社会課題について多面的に考えるきっかけを提供しています。



上映会当日の埼玉会館入口

上映会やアフターイベントの開催を通じた地域活性化



より深く作品を鑑賞できるよう、映画鑑賞後に作品の背景を学んだり、作品に関連するライブパフォーマンスを鑑賞する「アフターイベント」に力を入れています。過去には、洋菓子店が舞台の映画上映後に「市内NPO法人によるクッキーの販売」や、落語家の半生を描いた映画上映後に「埼玉大学落語研究会による寄席」を行うなど、市内の地域を活かした企画で来場者の満足度を向上させています。

上映会やアフターイベントを通じて、感動や多様な学びに寄与するとともに、来場者同士での新たなコミュニティの形成や、帰りに上映会場周辺地域の店舗に足を運んでもらうことによる地域活性化につながっています。



学習院大学 文学部 小林 和貴子 教授による「ウィーンとユダヤ人」をテーマにしたアフターセミナー

担当の方からひとこと

今後も皆様に社会課題について考えていただけるような作品の選定や、さいたま市内の地域資源を活用したアフターイベントを開催していくことで、市民満足度の向上や持続可能なまちづくりに貢献してまいります。上映会への御来場をお待ちしております。（日程などはホームページで御確認下さい。）

【NPO法人埼玉映画ネットワーク 専務理事 由布 隆（問合せ 048-762-9407）】



埼玉映画ネットワーク
ホームページ